

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代男性)あります。本年の累積報告数は3例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 日本紅斑熱の報告が1例(男性, 50歳代)(23週追加)あり、京都市では「感染症法」が施行された平成11年4月以降、平成23年、平成27年に次ぐ3例目の報告となっています。症状は発熱、刺し口、発疹です。推定感染地域は国内で、推定感染経路はマダニからの感染です。
- マラリアの報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱、悪寒です。推定感染地域は国外(ギニア)で、推定感染経路は蚊媒介です。本年初めての報告となっています。
- ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(40歳代女性)(22週追加)あり、症状は全身倦怠感、嘔吐、発熱です。推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年初めての報告となっています。
- 破傷風の報告数が1例(男性, 60歳代)あります。症状は筋肉のこわばり、開口障害、痙攣です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は創傷です。本年初めての報告となっています。

## ◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

- 京都市では腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代男性)あり、年間累積報告数は3例となりました。全て散発事例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 4例  
【1月以降の累積報告数 169例(肺結核 85例, その他結核 23例, 潜在性結核感染者 61例)うち喀痰塗抹陽性 41例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 四類:日本紅斑熱 1例(23週追加)【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類:マラリア(熱帯熱) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例(22週追加)【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(23週追加)【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 38例】
- 五類:破傷風 1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.74	409
	② 手足口病	4.10	172
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.71	114
	④ 咽頭結膜熱	0.95	40
	⑤ ヘルパンギーナ	0.74	31
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

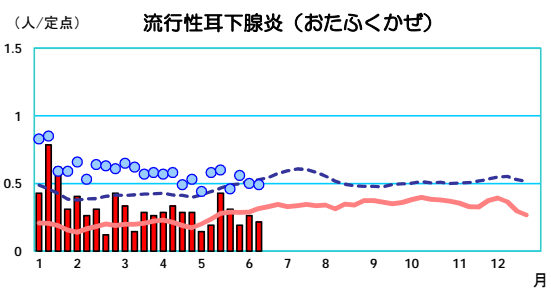
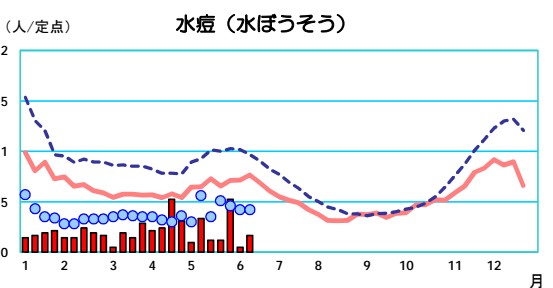
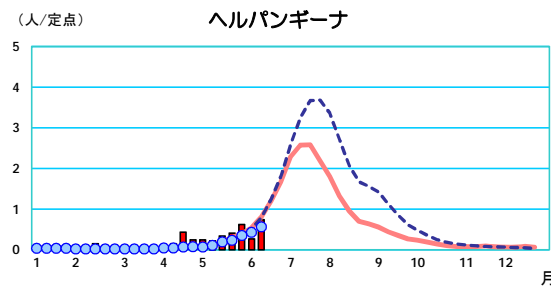
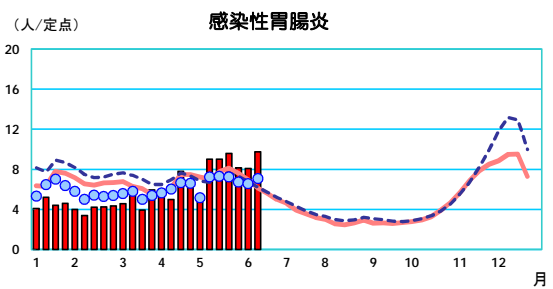
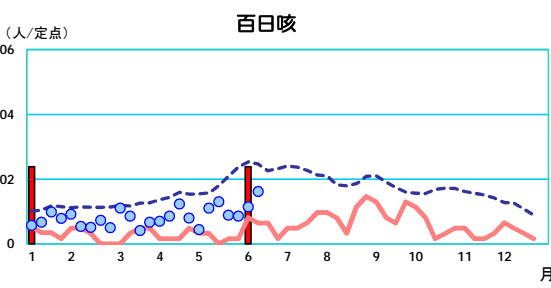
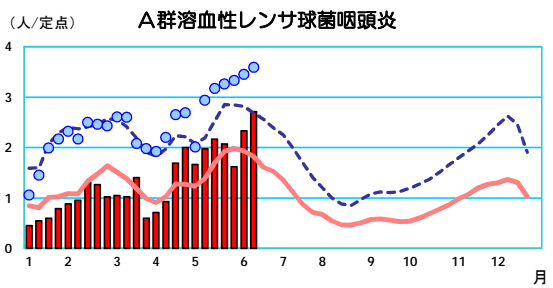
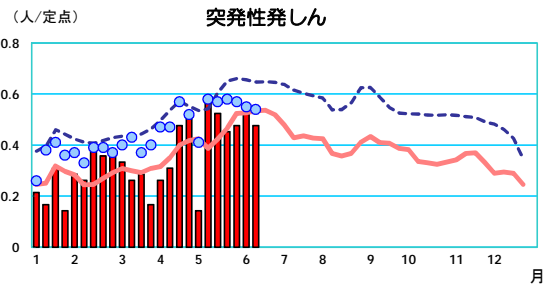
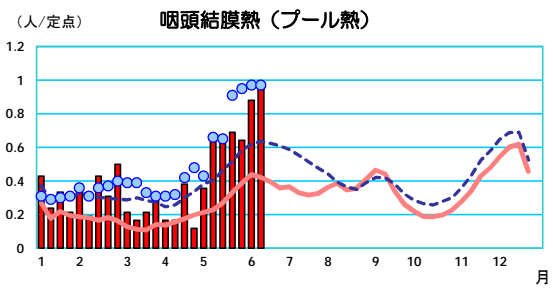
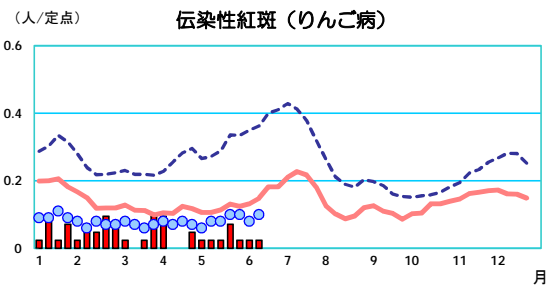
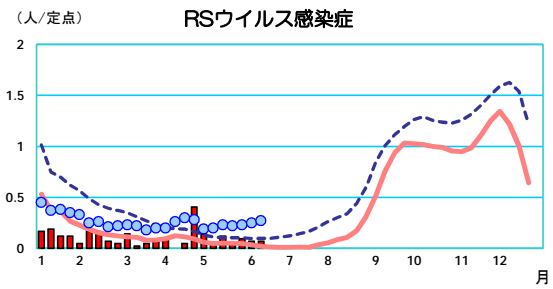
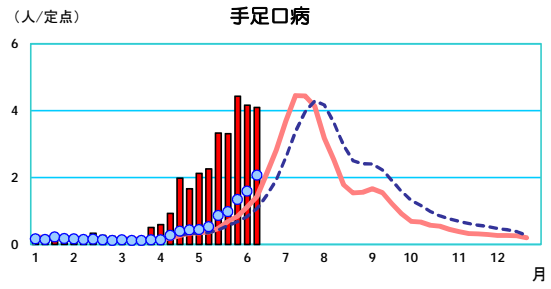
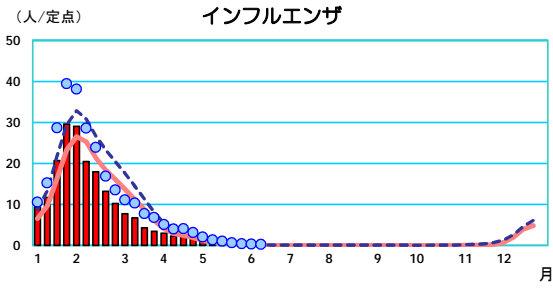
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年6月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第24週(6月12日～6月18日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

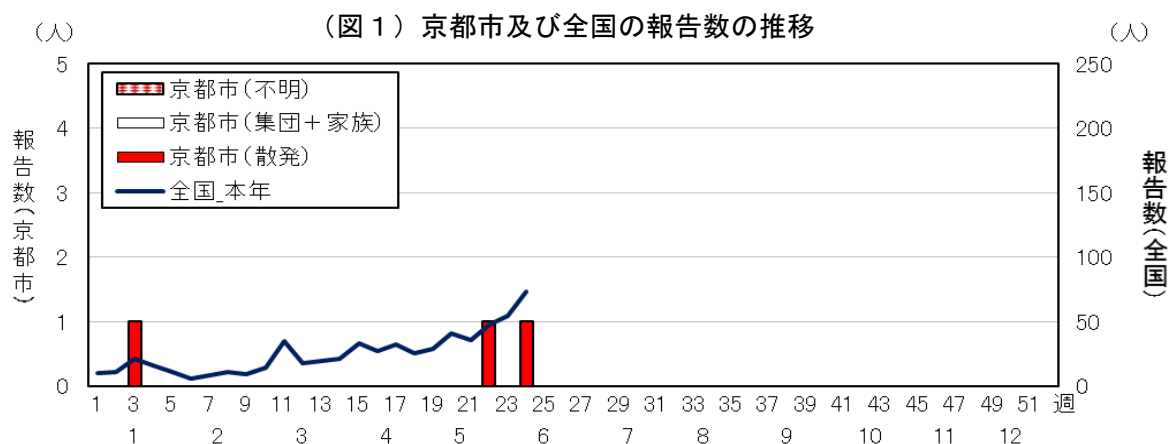
京都市では腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代男性)あり、年間累積報告数は3例となりました。全て散発事例となっています(図1)。過去5年間における本市の月別報告数の推移をみると、夏季(6～9月)に多く発生していることから(図2)、今後の発生動向に注意が必要です。

本疾患は、ベロ毒素を産生する大腸菌(腸管出血性大腸菌:EHEC)を原因とする感染症で、潜伏期間は3～5日で、主症状は激しい腹痛、水様性下痢及び血便です。特にベロ毒素等により発症する溶血性尿毒症症候群(HUS)は腎機能障害などの後遺症を残したり、最悪な場合、脳症を併発して死に至る場合があります。EHECは、表面にあるO抗原による血清型で分類すると約180種類ありますが、全国的にO157が最も多く報告されています。本市でも、平成24年からの報告数166例のうち、O157が125例と約75%を占めています(表1)。

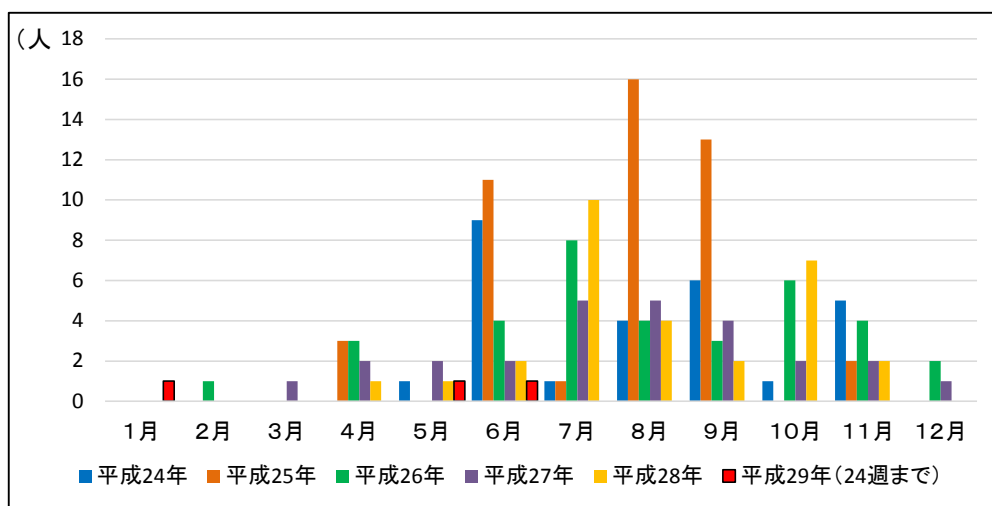
感染経路をみると、これからの季節、飲食物を介する経口感染の割合が高くなります。経口感染に対する感染予防には、食中毒予防の基本(菌やウイルスをつけない、増やさない、やっつける)を守ることが重要です。特に食肉等の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄と消毒、流水と石けんによる手洗いが有効です。詳細については、以下のホームページを御参照ください。

【厚生労働省】「腸管出血性大腸菌による食中毒」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/daichoukin.html>



(図2) 京都市の月別報告数の推移(平成24年～平成29年24週まで)



(表1) 本市におけるO血清型別報告書(平成24年～平成29年24週まで)

診断年	O26	O69	O78	O103	O111	O145	O146	O157	O165	不明	合計
平成24年						1		23	1	2	27
平成25年	5					8		33			46
平成26年	6		1	3				24		1	35
平成27年		1		1	1			20	1	2	26
平成28年	3					2		23		1	29
平成29年24週まで							1	2			3
合計	14	1	1	4	1	11	1	125	2	6	166

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第24週

疾病,行政区別報告数

平成29年6月12日～平成29年6月18日

データ入手日:平成29年6月22日

	インフルエンザ (*1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (*2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (*3)	感染性胃腸炎 (*4)
男女合計	-	-	-	3	3	-	5	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
北	-	-	-	3	3	-	5	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
上京	-	-	2	5	13	-	10	-	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	1	16	40	1	22	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	5	21	-	9	1	1	-	10	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	20	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	1	-	9	7	13	3	5	-	2	-	4	1	-	2	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	5	7	48	-	8	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	3	6	34	78	-	36	-	3	-	3	2	-	3	-	-	-	-	-
伏見	-	-	15	23	116	2	65	-	3	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	12	54	-	7	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	3	40	114	409	7	172	1	20	-	31	9	-	8	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (*1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (*2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (*3)	感染性胃腸炎 (*4)
男女合計	-	-	-	0.75	0.75	-	1.25	-	-	-	-	0.25	-	3.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.75	0.75	-	1.25	-	-	-	-	0.25	-	3.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.67	1.67	4.33	-	3.33	-	1.00	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	0.25	4.00	10.00	0.25	5.50	-	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1.67	7.00	-	3.00	0.33	0.33	-	3.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	10.00	-	2.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	0.14	-	2.25	1.75	3.25	0.75	1.25	-	0.50	-	1.00	0.25	-	2.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1.50	0.50	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1.67	2.33	16.00	-	2.67	-	0.33	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.60	1.20	6.80	15.60	-	7.20	-	0.60	-	0.60	0.40	-	3.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2.14	3.29	16.57	0.29	9.29	-	0.43	-	0.43	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.40	2.40	10.80	-	1.40	-	0.40	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.07	0.95	2.71	9.74	0.17	4.10	0.02	0.48	-	0.74	0.21	-	0.80	-	-	-	-	-

\*1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

\*2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

\*3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

\*4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第24週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年6月12日～平成29年6月18日

データ入手日:平成29年6月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		40	-	8	13	9	5	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		114	4	-	4	6	13	19	19	5	14	12	3	7	-	8	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		409	3	32	80	56	37	35	28	17	11	10	23	27	9	41	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	1	-	-	-	-	1	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	172	4	19	71	50	9	6	8	-	-	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		20	-	6	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		31	-	5	13	4	3	3	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		9	-	-	-	1	1	2	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	-	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.07	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.95	-	0.19	0.31	0.21	0.12	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.71	0.10	-	0.10	0.14	0.31	0.45	0.45	0.12	0.33	0.29	0.07	0.17	-	0.19	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.74	0.07	0.76	1.90	1.33	0.88	0.83	0.67	0.40	0.26	0.24	0.55	0.64	0.21	0.98	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	-	0.02	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	4.10	0.10	0.45	1.69	1.19	0.21	0.14	0.19	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.48	-	0.14	0.26	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.74	-	0.12	0.31	0.10	0.07	0.07	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.21	-	-	-	0.02	0.02	0.05	0.05	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.20	0.20	-	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第24週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年6月22日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		45	22	15	6	1	1
RSウイルス感染症		2	5	2	4	3	3
咽頭結膜熱		28	27	29	27	37	40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		83	91	87	68	98	114
感染性胃腸炎		378	379	403	342	339	409
水痘		14	5	5	22	2	7
手足口病		95	140	139	186	175	172
伝染性紅斑		1	1	3	1	1	1
突発性発しん		24	22	19	20	22	20
百日咳		-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ		9	14	17	26	11	31
流行性耳下腺炎		8	18	13	8	11	9
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	3	4	2	4	8
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		693	727	736	712	705	815

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.65	0.32	0.22	0.09	0.01	0.01
RSウイルス感染症		0.05	0.12	0.05	0.10	0.07	0.07
咽頭結膜熱		0.67	0.64	0.69	0.64	0.88	0.95
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.98	2.17	2.07	1.62	2.33	2.71
感染性胃腸炎		9.00	9.02	9.60	8.14	8.07	9.74
水痘		0.33	0.12	0.12	0.52	0.05	0.17
手足口病		2.26	3.33	3.31	4.43	4.17	4.10
伝染性紅斑		0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02
突発性発しん		0.57	0.52	0.45	0.48	0.52	0.48
百日咳		-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ		0.21	0.33	0.40	0.62	0.26	0.74
流行性耳下腺炎		0.19	0.43	0.31	0.19	0.26	0.21
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	0.30	0.40	0.20	0.40	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		16.54	17.33	17.69	17.05	17.08	20.00

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。